授業科目名・形態	精神医学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	4
科目担当者氏名	畠山禮子・藤枝信夫・田中真・藤田博章	実務経験の有無	有	開講期	3年前期･後期
科目ナンバリング	W4-3016p				

【授業の主題】

精神保健福祉士は精神病院、精神保健福祉センター、保健所を始め、その他施設で、デイ・ケア、企業でのメンタルヘルスや医療観察法における活動など、社会における需要は増大している。

本講義では、精神医学の初歩を学習し、人権を尊重する態度など、各人の今後のソーシャルワーカー活動の礎を築くことを目標とする。

【到達目標】

1) 代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。
2) 精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。
3) 精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する。
4) 精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する。

【授業計画・内容】

〈田中担当〉
第 1 回　精神疾患の治療（精神科薬物療法）
第 2 回　精神疾患の治療（電気けいれん療法などの身体療法）
第 3 回　精神疾患の治療（精神療法）
第 4 回　精神疾患の治療（精神科リハビリテーション①）
第 5 回　精神疾患の治療（精神科リハビリテーション②）
第 6 回　精神疾患の治療（環境・社会療法）〔本人・家族への支援を含む〕
〈藤枝担当〉
第 1 回　気分障害（1）
第 2 回　気分障害（2）
第 3 回　神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
第 4 回　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群
第 5 回　精神遅滞および心理的発達の障害
第 6 回　行動および情緒の障害
〈　　担当〉
第 1 回　精神疾患総論
第 2 回　精神科疾患の症状と診断
第 3 回　代表的な精神疾患（器質性精神障害）
第 4 回　代表的な精神疾患（精神作用物質使用による精神および行動の障害）
第 5 回　代表的な精神疾患（統合失調症）
第 6 回　代表的な精神疾患（心理的発達の障害）
〈畠山担当〉
第 1 回　精神障害の概念
第 2 回　精神疾患の成因と分類
第 3 回　パーソナリティー障害と行動の障害
第 4 回　精神科医療機関における治療の実際（1）
第 5 回　精神科医療機関における治療の実際（2）
第 6 回　精神科医療機関における治療の実際（3）〔精神科病院におけるチーム医療と精神保健福祉士の役割を含む〕
第 7 回　精神医療と保健、福祉の連携（1）
第 8 回　精神医療と保健、福祉の連携（2）
第 9 回　精神医療と保健、福祉の連携（3）
第 10 回　精神医療の動向（1）
第 11 回　精神医療の動向（2）
第 12 回　精神医療の動向（3）

【授業実施方法】　講義形式で行う。
【授業準備】　教科書の不明な語句等は、前もって調べておくこと。
【主な関連する科目】　精神保健福祉論、精神科リハビリテーション学
【教科書等】　一般社団法人　日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「精神医学と精神医療」中央法規出版
【参考文献】　適宜提供します。
【成績評価方法】　試験成績 90%、授業態度 10%にて総合的に評価する。また、試験は各教員の担当が終了する都度実施し、担当教員ごとの試験を一つでも受験していない場合は、単位認定対象外となります。
【実務経験及び実務を活かした授業内容】

精神科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

精神科医療、メンタルヘルスを取り巻く現状は大きな変革期にあり、ニーズも増大しつつある。このため授業で取り上げる内容はおのずと広範とならざるを得ない。授業においては真摯且つ積極的な態度で臨むことを期待する。なお、土曜日に開講する場合があるなど、変則的な日程となるので、学内掲示に十分に注意すること。